



国道7号 栗ノ木道路・紫竹山道路 橋梁上部工事に着手します ～令和6年度工事のお知らせ～



立体道路の整備に向け、これまで栗ノ木川の付替えや地表道路位置の切替えを実施し、令和5年度には立体道路の整備空間が確保されたところです。立体道路の橋脚工事は約半数に着手しており、更なる整備推進を図るために、このたび橋梁上部工事に着手します。

あわせて、令和6年度の工事予定についてもお知らせします。

位置図

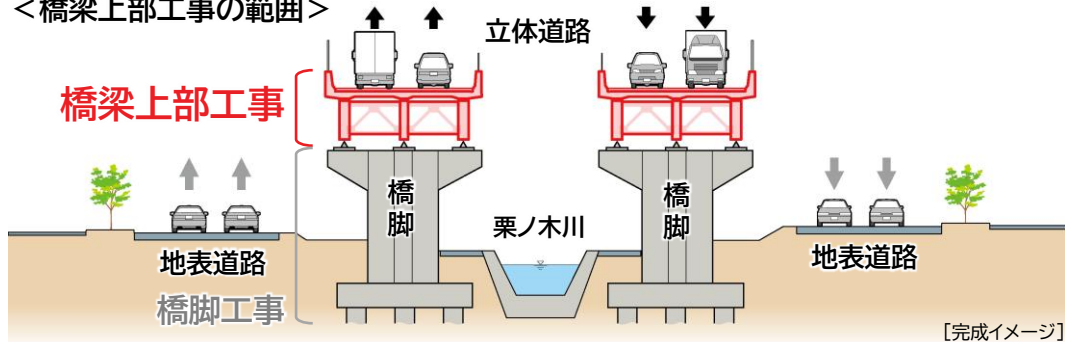


<現地状況> 紫竹山より万代島方面を望む



令和6年3月11日撮影

<橋梁上部工事の範囲>



[完成イメージ]

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所

計画課長 岡田 英治 (おかだ えいじ) (内線261)

新潟市中央区南笹口2-1-65
電話 025-244-2159(代表)

<https://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/>
FAX 025-246-7763



HP

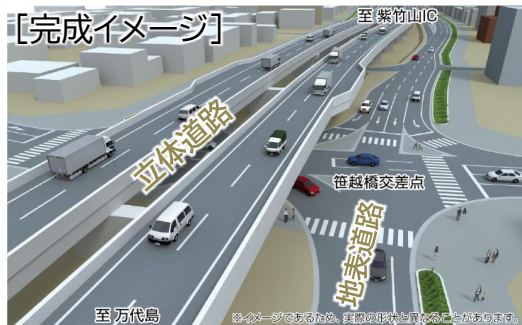


X (旧Twitter)

国道7号 栗ノ木バイパス周辺の 令和6年度工事予定のお知らせ

[別紙1]

[完成イメージ]



栗ノ木バイパスの渋滞緩和、安全性向上などを目的として、立体道路の整備を行っています。

「通過する交通」は立体道路へ、「地域の交通」は地表道路へと整理することで、交通の流れがスムーズとなり安全・安心な道路を目指します。

① 立体道路の橋梁上部工事

ささごえばし
あぶみ
笹越橋交差点付近の4橋脚間(上下線両側)、笠交差点付近の6橋脚間(下り線側)の橋梁上部工事に着手します。今後複数年で工事を行います。

② 立体道路の橋脚工事

工事中の25基に加え、新たに7基の工事を行います。これにより、完成している16基とあわせ、48基/84基に着手することとなります。

③ 道路整備工事

道路位置切替えに向けて、基盤整備(電柱や埋設管の移転)を行います。

④ 南紫竹IC(出口)整備に向けた準備工事

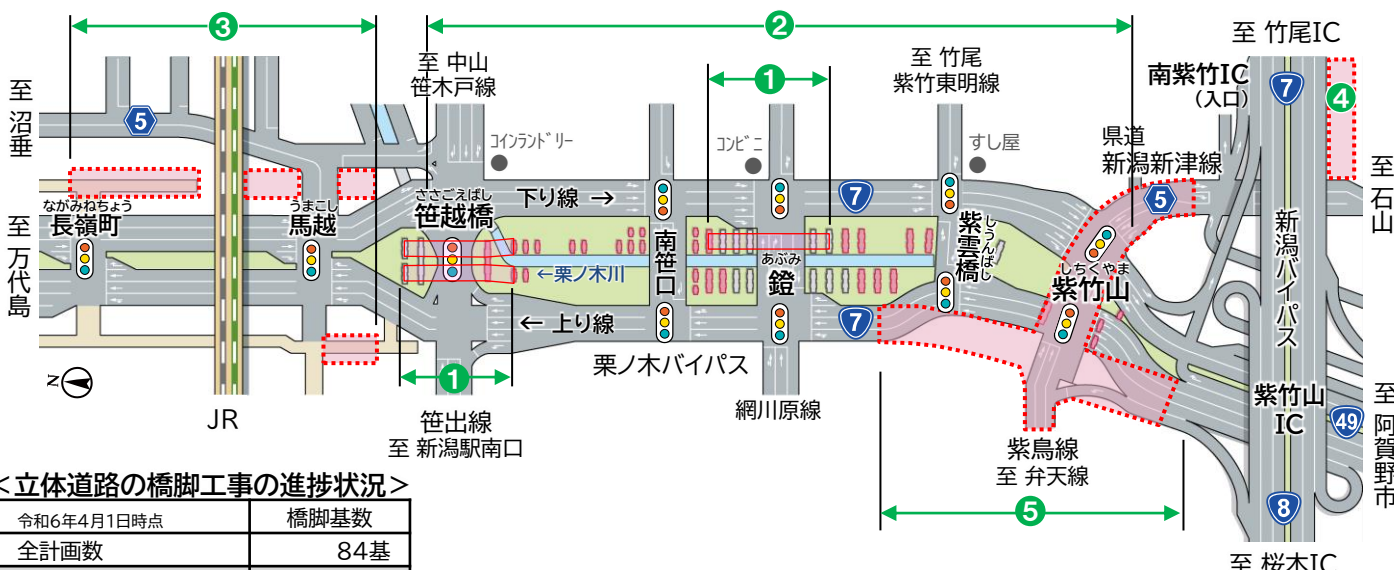
南紫竹IC(出口)を整備するために、基盤整備(埋設管の移転)を行います。

⑤ 道路の路面の高さを下げる工事(紫竹山交差点周辺)

昨年度より引き続き、道路位置を切替えながら、段階的に工事を行います(別紙2参照)。全5回の道路切替えのうち、2回が完了しており、今年度に残り3回の切替えを実施します。

[位置図]

■ 主な整備区間 □ 橋梁上部工事



< 立体道路の橋脚工事の進捗状況 >

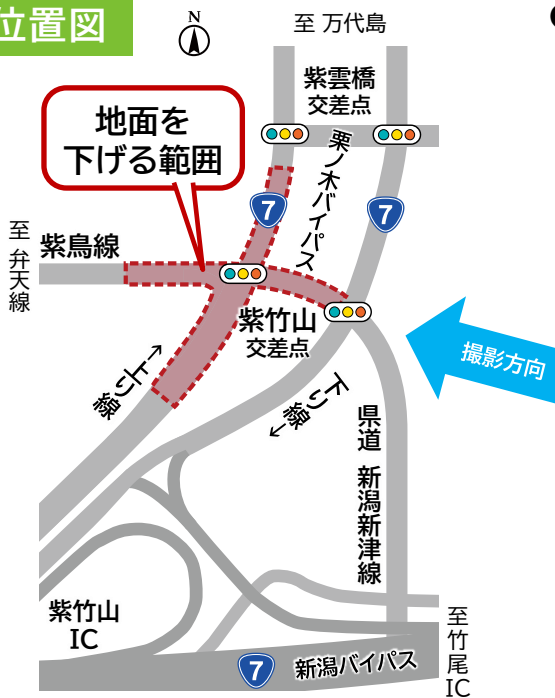
令和6年4月1日時点	橋脚基数
全計画数	84基
令和5年度までに完成	16基
令和6年度工事	32基
工事中	25基
令和6年度着手	7基
令和7年度以降	36基

※図の範囲外に2基

工事によっては、交通規制を伴いながらの施工となります。交通規制の期間や内容については詳細が決まり次第別途お知らせします。

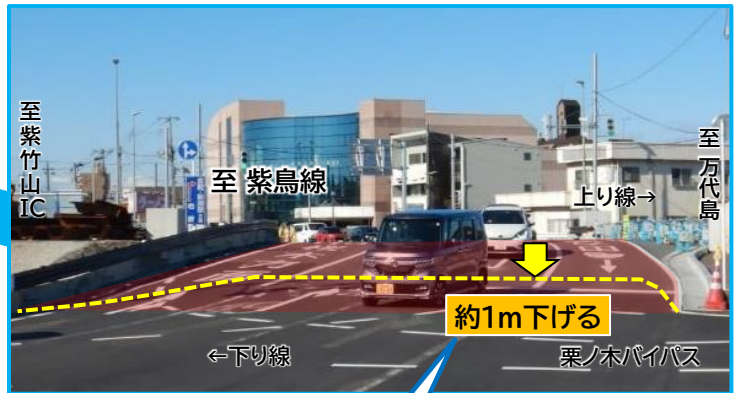
紫竹山交差点改修工事について

位置図



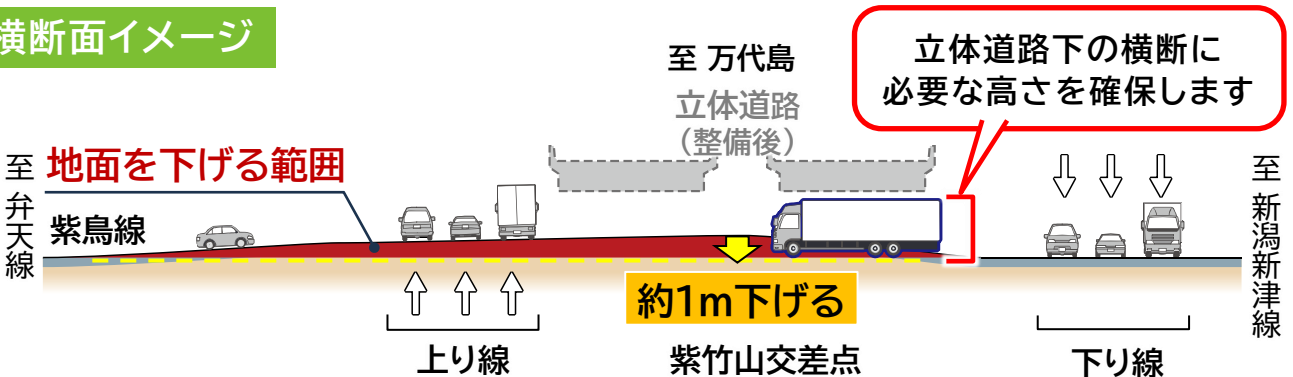
- この工事が完了すると、笹越橋交差点～紫竹山IC間の立体道路の整備空間が整います。

栗ノ木バイパス下り線から見た紫竹山交差点(紫鳥線方向)



紫竹山交差点内の高低差が無くなり、見通しも良くなります

横断面イメージ



道路の切替えイメージ

- 長期の通行止めをしないよう、切替えを繰り返しながら少しずつ地面の高さを下げていきます。
- 工事は令和5年度～6年度の2か年に渡り、道路切替えは今後3回を予定しています。

